

令和5年度 働き方改革推進事業指定校 最終報告
野幌高校アクションプランの現況について

実践自走



北海道野幌高等学校

壽 淺 章 洋



目次

- STAGE 1 推進事業指定校 初年度(R4)の取組
- STAGE 2 アクションプラン3年計画の着実な実施
- STAGE 3 「やる気」に繋がるアクションプラン

STAGE 1 推進事業指定校 初年度(R4)の取組



公募校長 応募にあたり準備を開始

《野幌高校の過去と現状を徹底リサーチ》

教育課程の状況 生徒の状況 職員の状況(生徒との関係性)
ICT運用状況 アンビシャス・スクールの導入の経緯 進路指導・生徒指導状況
教育相談・SCの状況 部活動 働き方改革の状況 等

《学校改革構想の基本スタンス》

- ・人と人をつなぐ教育活動による「自己存在感」の創出【地域連携】
〈自己理解、自己発見、自己肯定感、自己有用感、所属感、成就感〉
 - ・生徒の可能性を信じて真剣に向き合う教員集団の育成【教職員の能力向上】
〈教員の共通理解と意識向上、組織で取り組むことでの成功体験〉
 - ・地域コンソーシアムの構築と能動的な学習による資質・能力の向上【探究学習】
〈地元企業、福祉、大学、専門学校 等 人的教育資源をつなぐ探究プロジェクト〉
- アンビシャススクールの成功を第一に考える事が全ての成功へつながる！

STAGE 1 推進事業指定校 初年度(R4)の取組



所信挨拶で職員へ伝達

《新しい施策を推進する前に 進めるべき内容を提示》

- ・職場環境
- ・観点別評価の完全実施
- ・生徒指導の在り方
- ・BYOD
- ・働き方改革(スクラップ&ビルド)
- ・履修と修得分離の検討
- ・教頭へ配慮した働き方改革の必要性 など

《アンビシャススクールを成功させる》

- ・目標達成に向けての方向性は管理職が示す！
- ・進む過程で何をするかは全教員で考え実行する！ ※ボトムアップ・PDCA

・野幌高校へのネガティブなカリキュラムをぶち壊す！

※江別市民アンケートの実施 地域と連携した実践に向けた足がかり



《野幌高校が目指す教育の目玉 ～新たな教育目標～ 》

社会的・職業的自立 これからの社会を担うことのできる人間力を育てる！

地学協働による探究学習で子どもたちを伸ばす！

STAGE 1 推進事業指定校 初年度(R4)の取組



《令和4年度 コアチームを組織》

- (1) 野幌高校アクションプランの実現に向け、教職員を代表するリーダーとして活動する。
- (2) 各担当における業務の精選と効率化について検討を進める。
 - ・スクラップ&ビルドによる業務の精選
 - ・分掌内での協議、必要に応じて職員アンケート
 - ・ICT環境の有効活用
- (3) 学年主任は、分掌長への助言及びバックアップに努める。
- (4) 実施に向けた進行計画をチームで作成・集約し、職員会議で提案した。
 - ・R4後期から実施 → R6までの実施計画を作成
 - ・常に目的を明確にして共有→成功に向けての計画改変はOK
- (5) 計画書の提出 8/10 アクションプラン3年計画を策定

STAGE 1 推進事業指定校 初年度(R4)の取組



《野幌高校アクションプラン3年計画を策定》

野幌高校アクションプラン計画

【進行計画】

年 月	総務部				教務部			生徒指導部				進路指導部			
	職員会議のペーパーレス化	各種調査のデジタル化	中間評価会議の簡略化	朝の打ち合わせのペーパーレス化	定期考査実施回数の見直し	シラバスの字級分・職員分の印刷廃止	形態化している「授業公開週間」の廃止	講話等の精選および隔年実施の検討	提出物のオンライン化	いじめ確認調査の実施回数を見直し	部活動の精選	ホームブックで取り戻しシートを作成、配布準備を促しシート提出によるアラビヤゴースト対策	学年末の進路指導を1月の進路指導に統合し、2学期末へお移しして実施する	学年末2学期のインターンシップの準備を前年11月の進路指導に集約し、12月に実施する	進路指導をグループワークで行い、ICTを活用し進路指導などの活性化を図る
2022 8月	職員会議ペーパーレス化の準備		中間評価会議の簡略化の準備							職員会議の開催		ホームブックの準備			進路指導の実施
9月										中間評価会議の開催					
10月	職員会議ペーパーレス化の準備		中間評価会議の簡略化の準備							中間評価会議の開催					
11月										中間評価会議の開催					
12月					定期考査実施回数の見直し					中間評価会議の開催					
2023 1月										中間評価会議の開催					
2月				朝の打ち合わせのペーパーレス化の準備		シラバスの形態化・廃止				中間評価会議の開催					
3月		各種調査のデジタル化の準備	実施		中間評価に向けての準備		実施	講話等の精選	提出物のオンライン化	中間評価会議の開催					進路指導の実施
4月		各種調査のデジタル化の準備		朝の打ち合わせのペーパーレス化の準備		シラバスの形態化・廃止				中間評価会議の開催					進路指導の実施
5月										職員会議の開催					
6月										職員会議の開催					
7月										職員会議の開催					
8月	実施									職員会議の開催					
9月										職員会議の開催					
10月										職員会議の開催					
11月										職員会議の開催					
12月										職員会議の開催					
2024 1月										職員会議の開催					
2月										職員会議の開催					
3月					定期考査					職員会議の開催					
4月										職員会議の開催					
5月										職員会議の開催					
6月										職員会議の開催					
7月										職員会議の開催					
8月										職員会議の開催					
9月										職員会議の開催					
10月										職員会議の開催					
11月										職員会議の開催					
12月										職員会議の開催					
1月										職員会議の開催					
2月										職員会議の開催					
3月										職員会議の開催					

STAGE 2 アクションプラン3年計画の着実な実施



- 職員会議のペーパーレス化
 - 各種諸調査のデジタル化
 - 朝の打ち合わせのペーパーレス化
 - シラバスの学級分・職員分の印刷廃止
 - 提出物のオンライン化
 - いじめ確認調査の実施回数の見直し
 - ※現在はGoogle foamを活用して 年9回の実施目標 ※未然防止の強化
 - 全ての振り返りシートのキャリアパスポートへの統合
 - 定期的実施する進路希望調査についてGooglefoamを活用
-
- ICT環境を活用した業務のデジタル化は、全て令和4年度の後期から試行的に実施



令和5年度から完全実施

STAGE 2 アクションプラン3年計画の着実な実施



- 中間評価会議の簡略化
 - ・分掌、学年等による反省と課題、要望について提出
 - ・課題解決と要望についての改善について、真摯に対応・改善に努める
- 形骸化している「授業公開週間」の廃止
 - ・教職員や保護者など、授業参観はいつでも歓迎する雰囲気をつくる
- 講話等の精選および隔年実施の検討
 - ・検討の結果、全て生徒の学びには必要であると判断し継続実施
- 部活動の精選
 - ・部活動数が大規模校であった当時のまま… ⇒ 大胆な精選を実施
5部活動を廃部 文化部を2グループに分け顧問の少数化を実現
- R5からのインターンシップを地域連携とリンクさせる取り組みを実施
 - ・令和6年度からスタートするCS(学校運営協議会)が中心となり、コンソーシアムを構築することにより、円滑なインターンシップを実現する
- 本校の目指す教育の目玉となる、新たな地学協働による「探究学習プログラム」についても、CS(学校運営協議会)と野高コンソーシアムが中核となる

STAGE 2 アクションプラン3年計画の着実な実施



○ 定期考査の見直しに向けた研究 ※3年計画最後の1項目

- ・現在、教務部が中心となり、デジタル採点についての研究を進めている

定期テストの見直し(廃止)



単元テストの重要度が増加



採点に要する負担増

デジタル採点システムの導入



単元テストの定期的な実施



教科担任の負担軽減



授業での観点評価に注力する意欲



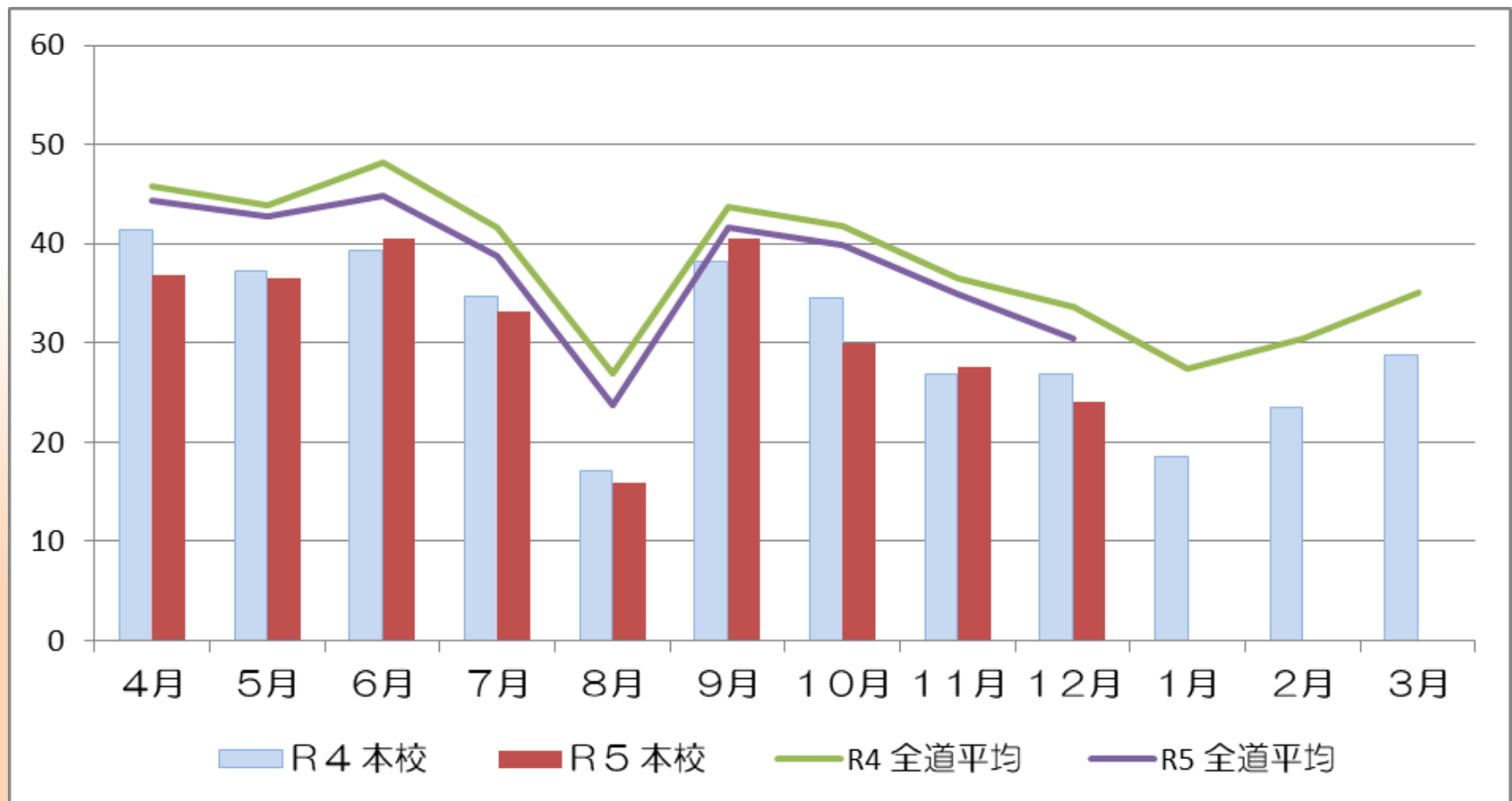
生徒の家庭学習の習慣化への期待

●学習活動における 教員 生徒にとっての好循環の創出が重要！

STAGE 2 アクションプラン3年計画の着実な実施



教職員の時間外在校時間(超過時間)の推移





STAGE 3 「やる気」に繋がるアクションプラン

《教職員の課題意識を高め不満を軽減する校内体制へ》

- 教職員面談を通して本校の抱える課題を把握 【管理職】
 - ・職員アンケートを実施 本校のアクションプランに関する意識を調査
 - ・教職員の声に傾聴 スクラップ&ビルドを推進 ⇒ 心理的安全性(やる気・やり甲斐)
 - ・校内研修等で、皆が自分の意見を話し合う場を設ける必要性を伝えている
 - ・校長として進むべき方向性を示す！ 進め方はボトムアップが重要！

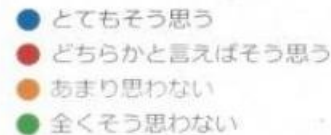
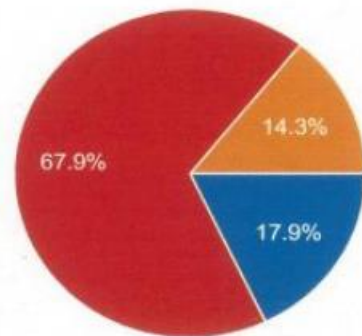
- 教職員の意見や要望に対し真摯に向き合う校内体制 【分掌】
 - ・評価会議 等で出た意見や要望に対し、改善の方法を模索する
 - ・ICTによる教育実践に不安を抱えている職員へ研修の機会を設ける
 - ・負担の多い職員への配慮と改善方法の検討、軌道修正
 - ・長期休業中の勤務時間を柔軟に対応するフレックスタイムを導入

- 外部機関と連携した教育相談体制の確立
 - ・SC、SSW、地域支援センター、大学生ピアサポート、NPO法人との連携

STAGE 3 「やる気」に繋がるアクションプラン

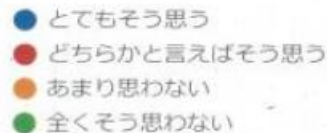
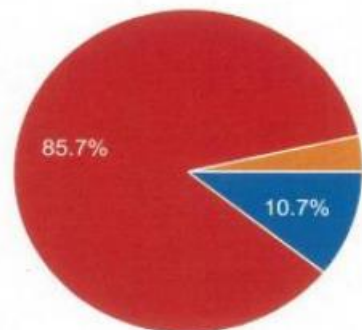
《本校教職員のアクションプランに関する意識調査》

1 コアチームで計画されている改革プラン3年計画は良く計画されていると思う。



肯定意見 86%

2 勤務時間の縮減のため、仕事の優先順位を考えるなどの工夫をしている。

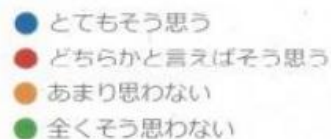
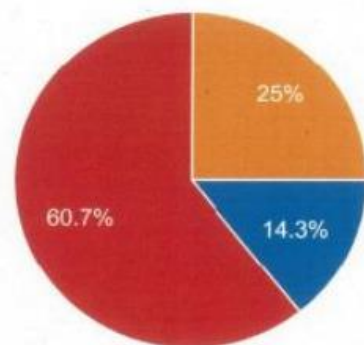


肯定意見 96%

STAGE 3 「やる気」に繋がるアクションプラン

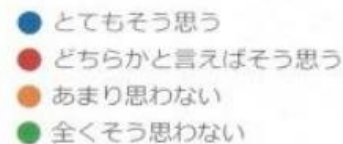
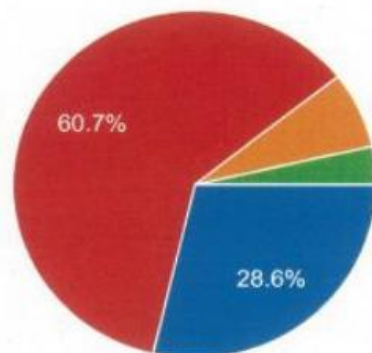
《本校教職員のアクションプランに関する意識調査》

3 コアチームによる改善計画は、効率化等により負担が軽減されたと感じている。



肯定意見 75%

4 本校の職場は、働き方改革について前向きによく取り組んでいると思う。

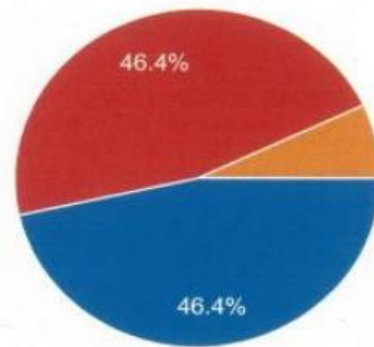


肯定意見 89%

STAGE 3 「やる気」に繋がるアクションプラン

《本校教職員のアクションプランに関する意識調査》

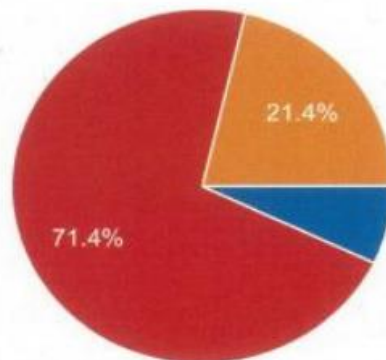
5 本校の職場環境は、抵抗なく休暇をとることができる。



- とてそう思う
- どちらかと言えばそう思う
- あまり思わない
- 全くそう思わない

肯定意見 93%

6 従来と比較して、仕事へのモチベーションが向上している。



- とてそう思う
- どちらかと言えばそう思う
- あまり思わない
- 全くそう思わない

肯定意見 79%



STAGE 3 「やる気」に繋がるアクションプラン

実践自主

《学校教育目標の改定》

- 校訓を俯瞰したものに！
- 野幌高校の教育について 誰もが理解しやすい内容に！
- 教職員が「合い言葉」のように 常に意識して教育実践できる内容に！

教職員から意見聴取しながら、改定作業を実施

豊かな人間性

挑戦する意欲

持続可能な社会を担う力

《育成を目指す 資質・能力 ジェネリック・スキルを示した》

自己抑制力

メタ認知力

傾聴力

表現力

協調力

実践力

情報活用力

発信力

自助力

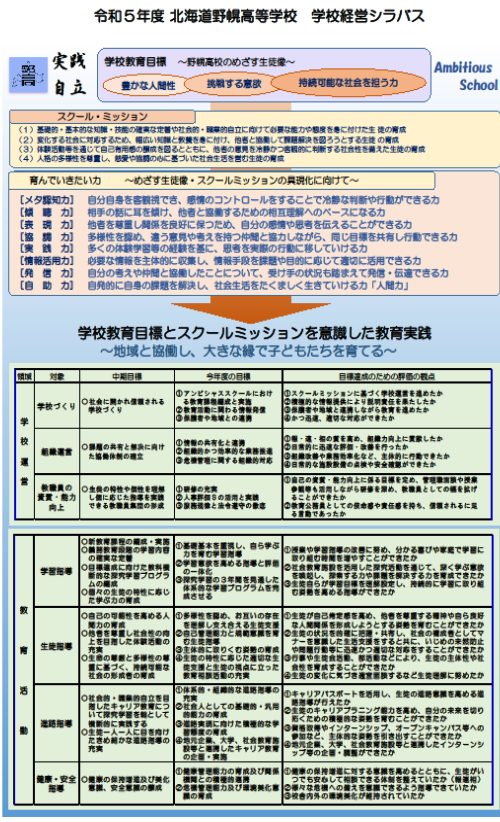
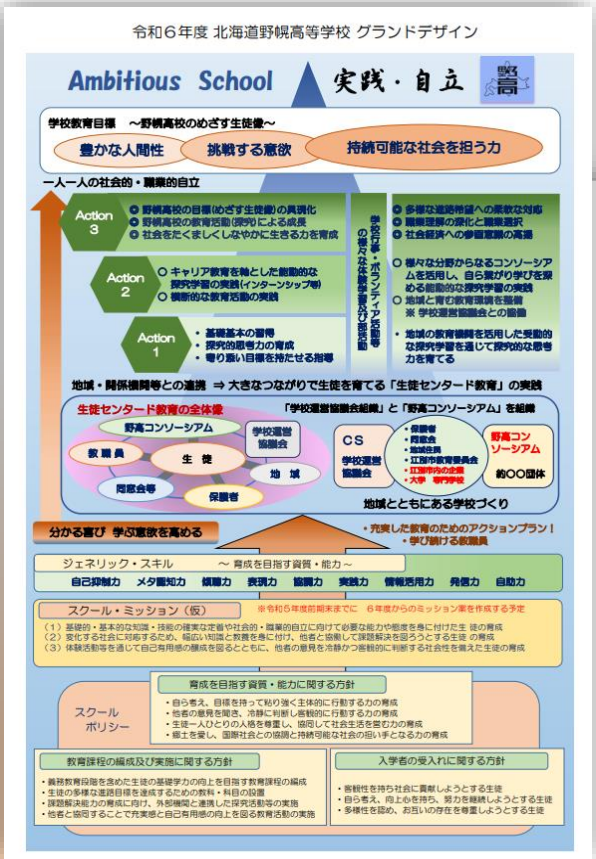
《学校経営シラバスの作成》

- 教育活動において、常に育成を目指す力を意識した目標を立て実行する
- PDCA 計画 → 実施 → 評価 → 改善



STAGE 3 「やる気」に繋がるアクションプラン

《グランド・デザイン 及び 学校経営シラバスを提示》 2023. 03



- 新 学校教育目標
- スクール・ミッション
- 生徒の育成指標
- 教育活動の基盤
「ジェネリック・スキル」
- 生徒センター教育
・R6 CSの導入宣言
・学校運営協議会設立
・コンソーシアム構築

STAGE 3 「やる気」に繋がるアクションプラン




野幌高校が求めるコミュニティ・スクールの基本的考え方

《目標とビジョンを共有し協働する 互いのメリットの追求》

- ・学校運営協議会による学校理解と教育活動への参画 [学校の応援団の創設]
- ・地学協働による学習活動は生徒を成長させる [社会性、自己有用感 等]
- ・地学協働による教育実践は教員集団を育てる [意識向上、社会的視野の拡大]
- ・地学協働による探究学習が地域を育てる [生きがい、自己有用感、達成感]
- ・地学協働による **能動的な探究学習は 生徒の才能を発掘する**
〈地元企業、福祉、大学、専門学校 等の人的教育資源をつなぐ探究学習プログラム〉

校長や教職員の異動があっても 持続可能な学校体制の仕組みが可能に！

《メンバー構成のコンセプト》

- ・地学協働を強力に推進するための地域の有力者 [コンソーシアムとの関係性]
- ・教育相談のスペシャリスト [充実した生徒支援]
- ・大学、専門学校 関係者 地域連携のスペシャリスト [充実した探究学習]
- ・学校運営協議会  コンソーシアム ※関係性大 [教員の負担軽減]

本校が導入するコミュニティスクールは、教職員のアクションプランに繋がる！

実践自走



野幌高校アクションプランの現況について

ありがとうございます ございました

北海道野幌高等学校

壽 淺 章 洋